

## 総論

2023 年度は、新型コロナウイルス感染症が感染症法の第 5 類感染症に位置づけが変更となったことをうけ、各地で NPO・ボランティア活動の再開の動きがみられました。また、和歌山県 NPO サポートセンターの指定管理者更新の年度となったこと、県内 2 市で地域運営組織の組織化への動きが進んだことなどのトピックスがみられました。昨年度の掲げた 3 つの重点ポイントに対する自己評価は以下の通りです。

### 【1】和歌山県 NPO サポートセンターの確実な運営

2023 年夏に公募のあった、和歌山県 NPO サポートセンターの指定管理者第 7 期に応募し、指定管理者として継続して運営することが決まりました。今期から運営期間が 5 年間となり、2024 年度から 2028 年度まで安定した事業の見通しが立ったことは評価できる一方、指定管理料（委託費）は昨今の物価上昇の度合いを十分に加味された額には至っておらず、社会的な人件費上昇の要請にこたえられる状況にも至っていません。そのため、2023 年度中から利用増に向けた様々な取り組みを進め、財政的にも安定した運営ができるよう準備を進めました。

### 【2】「地域運営組織」支援に向けた検討・実証

2023 年度は橋本市と田辺市で「地域運営組織」の設立に向けた取り組みに積極的に関わりました。橋本市では「自治と協働をはぐくむ条例」をベースに、市内 10 地区に設けられている「生活支援体制整備事業第 2 層協議体」の機能を高め、地域運営組織の設立に向けた検討を進める、いわば「ボトムアップ型」。田辺市は「田辺らしい自治のあり方モデル事業」を新庄公民館区で展開し（右写真）、地域の実情を把握し対話を重ねて組織化を目指す、いわば「トップダウン型」。双方の取り組みにわかやま NPO センターが関わり、時には住民のみなさんの意見集約に、時には地域に求められている事の「通訳」の役回りを担当し、少しずつ取り組みが前進しています。



### 【3】オール和歌山による公益的活動支援のプラットフォームづくり

3 年目となった「わかやま SDGs パートナーシップ基金」に向けたご寄附の募集と助成金事業の展開については、6 月の集中豪雨被害に伴う緊急助成と、2 月の通常枠助成（2023 年度は SDGs ゴール 14「海の豊かさを守ろう」・15「陸の豊かさも守ろう」に取り組む団体対象）を実施しましたが、前 2 年に比べるとご寄附につながる関心を十分に喚起することができず、取り組みは苦戦しました。産官学民の連携体制の構築には至っていないと判断しています。

## 2023 年度個別計画ごとの自己評価

### 1) 和歌山県 NPO サポートセンター運営

指定管理者第 6 期の最終年度となる 2023 年度の NPO サポートセンターの来館者数は、前年度比約 25%増の 12,027 人（オンライン利用者を含むと 12,074 人）となり、2019 年度以来の 12,000 人台

となりました。新型コロナの 5 類感染症化による利用者の回復が大きくみられました。

各種講座は、できる限り会場と ZOOM を併用したハイブリッド開催とし、進行上ハイブリッドが適さない内容であっても可能であれば、希望者を対象と

した YouTube 見逃し配信をおこなうなど、受講機会の拡大に努めました。

印刷機や長尺プリンタなどの機器のご利用はさらに大幅に伸長し、過去最高を記録。電子メール等のご相談など、来館以外の相談も増加しています。

2023 年度の重要課題であった、2024 年度以降の第 7 期指定管理者に応募し指定を受け、2024 年度から 2028 年度までの 5 年間の管理運営を担当することになりました。

NPO 法人の新規設立ニーズは増加傾向にあり、現在はこども食堂や地域食堂、児童養護施設等を卒業した若者の居場所など、困難な状況にある方の支援や地域コミュニティの再構築にあたらうとする動き、地域活性化を図ろうとする動きなどがみられます。

こちらの QR コードから和歌山県 NPO サポートセンターの事業報告をご覧ください。



## 2) NPO の組織基盤強化支援

和歌山市地域フロンティアセンター利用登録団体有志で構成する「和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会」の運営に積極的に関わり、NPO・ボランティア団体の世代交代、NPO・ボランティア団体の組織基盤強化も視野に入れた取り組みに関与しました。後述の「和歌山市議会議員と NPO・ボランティア団体との円卓会議」の運営、NPO・ボランティア団体の交流事業などに携わったほか、わかやま NPO センター理事長が委員を委嘱されている「和歌山市協働推進委員会」で取り上げられた議論を同協議会内でも取り上げ、NPO・ボランティア団体の横の連携を促す取り組みの企画・立案につながったことも大きな成果と考えています。

活動の社会的意義は大きいものの、対価性が低く運営基盤強化が困難な団体を対象にしたコンサルティング等の支援については 3 団体に対して実施。このうち 1 団体については助成事業の運営支援をおこない、この一環として実施されたアンケート調査の報告書がインターネットでも公開されています。

みその商店街内のわかやま NPO センター法人事務所を活用した「シェアオフィス事業」については、

2023 年度は 2 階会議スペースの共同利用のみにとどまっていたが、2024 年度から本格的にシェアオフィスが始まることとなっています。

休眠預金等活用事業については、指定活用団体である JANPIA（日本民間公益活動連携機構）から和歌山県に対するオファーを契機に休眠預金等活用事業に関する学習会を、和歌山県 NPO サポートセンターと和歌山県の共催の形で初めて開催し、制度の周知を開始しました。わかやま NPO センターに対する休眠預金等活用事業実施への期待の声も高まっており、資金分配団体に改めてチャレンジすべく調査を開始しています。

## 3) 様々な主体とのパートナーシップによる公益活動支援・SDGs 達成に向けた取り組み

### ★企業との連携

近畿労働金庫「NPO パートナーシップ制度（近畿 2 府 4 県の NPO 支援機関との連携事業）」に基づき、和歌山県内の「地域の居場所」に関するフォーラムを開催しました。また、社会貢献預金「笑顔プラス」寄附事業としては岩出市・紀の川市の社会福祉協議会に対する物品寄贈に加え、両市での「ハザードマップを読む会」と和歌山大学災害ボランティアサークル「むすぼら」のみなさんによる「防災かるた」による防災意識の向上プログラムを実施しました。

花王ハートポケット倶楽部助成事業「わかやまいきいきファンド」では、スタートアップ助成（設立 2 年以内、5 万円×4 団体）、パワーアップ助成（設立 2 年超、10 万円 3 団体）を花王グループ社員のみなさまと協働して実施。和歌山県内の団体の掘り起こしにもつながっています。

このほか、大塚商会「たのくんからの贈り物」事業による会員 NPO への物資提供やこども食堂実施団体向け物資の提供、明治ホールディングス「選択寄附制度」による県内障がい児支援施設へのお菓子寄贈（県内の NPO・ボランティア支援センターの協力で県内 5 施設に寄贈）のコーディネートを実施しました。

## ★行政等との連携

2023 年度は橋本市では交付金アドバイザーに加えて生活支援体制整備事業第 2 層協議体関係者を主な対象とした地域づくり講座の講師、田辺市では「田辺らしい自治のあり方モデル事業」の講師として積極的に地域づくり活動の活性化に関わりました。

このほか、前年から引き続き、和歌山市・田辺市・かつらぎ町などでの職員研修等の講師、田辺市では市長と NPO との意見交換会のファシリテートなどを担当しました。

さらに、内閣官房が実施した「孤独孤立対策モデル事業」の関西コンソーシアムに、滋賀・京都・大阪・泉北・神戸の各 NPO 支援機関と連携して参加。橋本市での子ども食堂（地域食堂）の運営基盤強化を軸にしたまちづくり活動支援事業を展開しました。この事業は先述の橋本市の第 2 層協議体関係者対象事業と連携させることで重層的な学びの場、団体同士の連携の場の提供にもつながり、高い評価をいただきました。



写真：橋本市での孤独孤立対策モデル事業で開催した講座

昨年度は、わかやま NPO センター法人化 20 周年記念事業として実施した「知事と NPO の対話フォーラム」の続編として「わかやま NPO フォーラム 2024」を開催。引き続き、岸本周平知事に登壇いただき、事前に募集した県内 NPO からの提言に対してお答えいただきました。この場で知事や参加者等から和歌山県内の NPO に対して休眠預金等活用事業を積極的に活用してほしい旨の強い呼びかけがあり、わかやま NPO センターとして資金分配団体への応募を視野に本格的に検討することとなりました。

「和歌山市議との円卓会議」もわかやま NPO センターと和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会と

連携し結成した実行委員会の主催で開催。地域の様々な活動の担い手をどう確保するかをテーマに議論を深めました。

## ★NPO 等との連携

県内のみなさんからのご寄附により県内の NPO・ボランティア活動を資金面で支援する「わかやま SDGs パートナーシップ基金」事業についてはまよめの項で触れた通り、6 月の集中豪雨被災地支援と 2 月の通常枠の 2 回の助成事業を実施しました。しかし、機会が分散したためか、ご寄附・助成への応募とも伸び悩みました。特に助成へのご応募が伸び悩んだことから、その理由を把握し、今後に活かしたいと考えています。

なお、6 月の集中豪雨被害に際しては、日本財団より緊急助成をいただき、被災地で活動するボランティア向けの資機材の購入、生活復興期における地域内の助け合い活動等に役立たせていただきました。また、和歌山県 NPO サポートセンター Facebook ページで随時情報発信をおこない、災害ボランティア活動の「ハブ」としての取り組みを進めました。一方で県外団体との連携が不十分に終わるなどの反省点があり、こちらも今後の教訓となっています。



写真：海南市下津町で中学生が地域の道路沿いの清掃活動を実施。この活動に日本財団助成金を活用させていただきました。

災害ボランティアセンター関係では、和歌山県庁側の担当課である県民生活課と県民活動団体室、災害ボラセンの設置主体である和歌山県社会福祉協議会との四者による「今後の在り方」の検討が始まっています。今後も継続して協議を行うこととなっています。

日本 NPO センターと損保ジャパンが共同事務局を担当している「SAVEJAPAN プロジェクト」2022-



23シーズンの事業として、紀美野町自然環境ネットワーク等との連携で同町「中田の棚田」での生き物さがしのプログラムを実施、多くの参加をいただきました。引き続き 2023-24 シーズンの事業採択を得て、2024 年 9 月まで事業を継続します。

日本 NPO センターなどが全国の NPO 支援機関有志による「NPO・市民活動支援共有ミーティング（通称：わくわく会議）」の呼びかけ人として引き続き参画し、地域・組織規模は問わず、その時々の中核の NPO 施策やホットな話題に関する意見交換をおこなう取り組みを進めました。

また、和歌山県 NPO サポートセンター事業等でも NPO 同士の連携促進をおこなっています。

#### 4) 情報発信力の強化

わかやま NPO センターのウェブサイトリニューアルが完了し、2023 年度から本格的に県内 NPO・ボランティア団体データベース、イベント情報、助成金情報のデータベースが稼働しています。

わかやま新報隔週金曜連載 NPO 紙面「わかつく」、Facebook ページ等多彩な手段で地域の NPO・ボランティア活動や今後の地域づくりにつながりそうな様々な統計情報などを紹介しています。これらの情報は、例えば NPO サポートセンターの事業内で団体情報を活用したり、自治体における様々な研修などで統計情報を活用したり、と組織内で横断的に活用しており、メディアをもつ事による効果が波及できていると考えています。

#### 5) 組織力の向上

寄附金税制が受けられる認定 NPO 法人として、2023 年 10 月に認定期間の更新を得ることができました。2028 年 10 月まで認定 NPO 法人として寄附金税制が受けられるようになっています。認定 NPO 法人は毎事業年度、3,000 円以上のご寄附<sup>1</sup>を

100 名以上から頂き続けることが求められています。2023 年度も約 100 名のご協力をいただくことができました。みなさま、ありがとうございます。

組織運営に際しては、毎月 2 回程度、正副理事長によるミーティングをおこない、業務の進捗状況の確認等を実施しているほか、2 か月に 1 回理事会を開催し、必要な事項の議決、協議などを行っています。加えて毎月 2 回、全スタッフが集まるミーティングを実施し、その時々の中核の事業の進捗状況をシェアしたほか、適宜、スタッフが分担しながら外部の学習会等に参加しました。

和歌山県との間で締結している「人権尊重のまちづくり協定」に基づき、人権研修の実施、人権に関するトピックスを職員内で共有するなどの取り組みを継続しました。

#### 【ご参考】

##### ※ わかやま NPO センターが連携している県内の NPO 支援機関

- 和歌山市地域フロンティアセンター
- 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会
- 橋本市市民活動サポートセンター
- 田辺市市民活動センター
- 新宮市ボランティア・市民活動センター

##### ※ わかやま NPO センターが参加している主な県外の NPO 支援ネットワーク

- 日本 NPO センター CEO 会議
- NPO・市民活動支援共有ミーティング（通称「わくわく会議」）
- 近畿労働金庫 NPO パートナシップ制度・近畿圏 NPO 支援センター連絡会議
- 関西 NPO 支援センターネットワーク
- 全国 NPO 事務支援カンファレンス
- NPO で働く人の会（NPO 等職員向けの共済制度等の創設をめざす協議体）
- NPO 法人会計基準協議会
- フィランソロピー・CSR リンクアップフォーラム（在阪企業・NPO 等のネットワーク）

<sup>1</sup> わかやま NPO センターの場合は、寄附金に加え、正会員会費 2 口目以降と賛助会員会費 3 口以上を入金いただいた方も寄附金税制対象となる入金として取り扱いができます

## 活動のあしあと

わかやま NPO センターの役職員が関係・参加した主なイベント・取り組みを掲載しています。

### 4月

- ・ 6日 わくわく会議
- ・ 25日 理事会

### 5月

- ・ 11日 わかやま NPO センター監査
- ・ 17日 SAVEJAPAN プロジェクト中間報告会
- ・ 24日 田辺市補助金審査会
- ・ 24日 サポートセンターZOOM 集中相談日
- ・ 25日 橋本市交付金審査会
- ・ 27日 わかやま NPO センター総会
- ・ 28日 SAVEJAPAN プロジェクト
- ・ 30日 和歌山市協働推進委員会

### 6月

- ・ 1日 わくわく会議
- ・ 2日・7日 サポートセンターZOOM 集中相談日
- ・ 7日 近畿労働金庫社会貢献預金笑顔プラス寄附金贈呈式
- ・ 15日 和歌山信愛大学ゲスト講義
- ・ 17日 /NPO 会計基準学習会
- ・ 26日 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会
- ・ 27日 県内中間支援機関意見交換会/理事会
- ・ 28日 NPO 事務支援カンファレンス総会/NPO 法人会計基準協議会総会

### 7月

- ・ 19日 和歌山市職員研修
- ・ 20日 和歌山商工会議所女性部講話
- ・ 21日 橋本市地域運営組織検討懇話会
- ・ 25日 おもしろ環境まつり実行委員会
- ・ 31日 和歌山市 NPO ボランティア推進協議会

### 8月

- ・ 2日 和歌山市協働推進委員会
- ・ 3日 わくわく会議
- ・ 7日・23日 環境省きんき環境館ヒアリング同行
- ・ 22日 理事会
- ・ 23日・25日 田辺市新庄地域ワークショップ
- ・ 24日 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会/おもしろ環境まつり実行委員会
- ・ 27日 SAVEJAPAN プロジェクト
- ・ 30日 NPO サポートセンター防災講座
- ・ 31日 ろうきん NPO パートナーシップ制度会議

### 9月

- ・ 1日 紀州っ子アドベンチャーフェスタ実行委員会
- ・ 8日 和歌山市 NPO ボランティア推進協議会交流会
- ・ 26日 NPO サポートセンター指定管理者審査会/橋本市連続講座
- ・ 27日 サポセン防災講座
- ・ 29日 サポセン助成金講座

### 10月

- ・ 5日 おもしろ環境まつり実行委員会
- ・ 7日 ファンドレイジング講座
- ・ 10日 サポセンスマホ動画講座
- ・ 11日 田辺市新庄地域ワークショップ

- ・ 12日 日本公庫ソーシャルビジネス相談会
- ・ 18日 田辺市補助金審査会
- ・ 19日 和歌山市協働推進委員会
- ・ 24日 橋本市連続講座
- ・ 25日 岩出市まちづくり講座
- ・ 26日 SAVEJAPAN プロジェクト全国会議
- ・ 28日 橋本市広報講座

### 11月

- ・ 10日 田辺市新庄地域ワークショップ
- ・ 11日 ろうきん笑顔プラス防災講座(岩出市)
- ・ 14日 橋本市連続講座
- ・ 15日 橋本市地域運営組織懇話会
- ・ 16日 紀州っ子アドベンチャーフェスタ実行委員会
- ・ 20日 和歌山市 NPO ボランティア推進協議会
- ・ 25日 助け合い輸送講座
- ・ 26日 わかやま学講座

### 12月

- ・ 1日 NPO 法施行 25 周年記念式典
- ・ 2日・4日 事務支援カンファレンス研修会
- ・ 3日 おもしろ環境まつり
- ・ 5日 花王ハートポケット倶楽部助成事業審査会
- ・ 7日 わくわく会議
- ・ 9日 紀州っ子アドベンチャーフェスタ
- ・ 12日 県内中間支援組織意見交換会
- ・ 16日 サポートセンター大掃除/橋本市生活支援体制整備事業第2層協議体学習会
- ・ 19日 理事会
- ・ 23日 和歌山県社会福祉協議会地域福祉フォーラム

### 1月

- ・ 10日 和歌山市協働推進委員会
- ・ 11日 ろうきん笑顔プラス防災講座(紀の川市)
- ・ 12日 田辺市新庄地域ワークショップ
- ・ 19日・21日 事務局セミナー全国開催
- ・ 20日 NPO 交流会
- ・ 22日 和歌山市 NPO ボランティア推進協議会
- ・ 27日 ろうきん NPO パートナーシップ制度シンポ
- ・ 28日 橋本市ボランティア体験フェア
- ・ 30日 橋本市連続講座

### 2月

- ・ 2日・4日 事務局セミナー全国開催
- ・ 7日 かつらぎ町公民館職員研修
- ・ 10日 和歌山市議と NPO・ボランティア円卓会議/ろうきん NPO パートナーシップ制度全体研修
- ・ 20日 橋本市交付金事業報告会
- ・ 22日 田辺市新庄地域ワークショップ

### 3月

- ・ 2日 市民活動フォーラム田辺学習会
- ・ 4日 和歌山市協働推進委員会
- ・ 13日 田辺市長と市民活動フォーラム意見交換会
- ・ 15日 県内中間支援機関交流会
- ・ 17日 わかやま NPO フォーラム 2024
- ・ 21日 花王ハートポケット倶楽部助成事業贈呈式
- ・ 22日 JANPIA 休眠預金等活用事業学習会